神鹿である「奈良のシカ」を守りましょう!

令和６年８月１５日
奈良県観光局奈良公園室

奈良県では、「１００年後も、奈良の鹿が今と変わらず奈良公園に元気で暮らしていること」を目標に、「奈良のシカ」の保護の取り組みを進めています。

➢ 「奈良のシカ」とは

- 他の地域に生息するニホンジカと同じ種であり、野生動物である。
- 国の天然記念物（文化財）である。
- 春日大社の神鹿として保護されてきた歴史がある。

■ 「奈良のシカ」については奈良公園周辺の重点保護地区（A地区）及び保護地区（B地区）を中心に神鹿として保護します。

○ 奈良県は奈良市、春日大社と協力し、奈良の鹿愛護会や鹿サポーターズクラブと連携しながら、主に５つの保護育成の取組を進めています。

① 奈良公園平坦部（重点保護地区；A地区）と春日山原始林を含む奈良公園山林部（保護地区；B地区）、その他地区の市街地などでは、奈良の鹿愛護会が主体となって、
・負傷、疾病シカ
・出産の近いシカ
・子ジカ
の救助、治療、保護、育成を図っています。

② 自動車によるシカの交通事故対策を行っています。

③ ゴミのポイ捨てによるシカの誤食を防ぐ環境保全活動を実施しています。

④ 奈良公園内の巡回パトロールを実施し、シカへの不適切な行為を発見した際には注意・指導を行っています。

⑤ シカの生態について理解を深め、広げるための広報・啓発活動（チラシ、ポスター、デジタルサイネージ等）を行っています。

■　「奈良のシカ」の歴史的背景を踏まえ、「奈良のシカ」と人とのより良い共存関係（「奈良のシカ」との正しい接し方）の構築を目指します。

〇　背中に乗る、抱え込む、角をつかむなどの接触により、不必要なストレスや害を与える可能性があることから、直接的な接触は行うべきではない。

〇　マダニなどが寄生している可能性があり、直接的な接触は避け、注意が必要。

〇　メスジカは出産期に、オスジカは発情期に不用意に近づいてはいけない。また子ジカにも不用意に近づいてはいけない。

〇　シカの健康に悪影響を与える恐れがあるため「鹿せんべい」以外は与えてはいけない。

〇　「奈良のシカ」に鹿せんべいを与える際は、「小さな子どもは大人と一緒に与える」、「じらさない」、「周りのシカにも注意する」、「手荷物に注意する」。

〇　公園内では、犬にリードを必ずつけることとし（ロングリードは不可）、犬を放すなど、「奈良のシカ」が驚く行為は行ってはいけない。

〇　紙やビニール袋などを「奈良のシカ」が間違えて食べてしまわないように、公園内にポイ捨てせず、家に持ち帰る。

（背　景）

・　近年の観光客の増加に伴い、シカに噛まれたり叩かれるなどの人身事故、鹿せんべい以外の給餌によるシカの健康への影響、シカと車両との交通事故が増加するなど、多くの問題が表面化しています。
・　さらに令和６年７月には、「奈良のシカ」を蹴ったり、叩いたりするなどの危害を加える様子を撮影した動画が確認されましたが、このような行為は極めて不適切であり、文化財保護法の規定に抵触し罰則が科せられる可能性があります。
・　「奈良のシカ」に安心して奈良公園で暮らし続けてもらうこと、観光客に安心して奈良公園を訪れ楽しんでもらうことを目的として、今一度「奈良のシカ」との正しい接し方を示します。